

各 位

2019年11月12日

会 社 名長野 計器株式会社 代表者の役職名代表取締役社長佐藤正継 (コード:7715、東証第一部)

問 合 せ 先 経理部担当取締役 角 龍 徳 夫 (TEL 03-3776-5333)

## 2020年3月期 第2四半期業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日~2019年9月30日) 業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期の通期業績予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

## 1. 2020 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想値と実績値との差異 (2019 年 4 月 1 日~2019 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	25, 760	1, 020	990	550	28円30銭
今回発表実績値(B)	23, 731	513	468	232	11円99銭
増減額(B-A)	△2, 029	△507	△522	△318	_
増 減 率 (%)	△7. 9	△49. 7	△52. 7	△57.8	_
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	26, 683	1, 786	1, 790	1, 321	68円15銭

# 2. 2020 年3月期 通期連結業績予想の修正

(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1)					
	売上高	営業利益 経常和	経常利益	親会社株主に帰属	1株当たり
				する当期純利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	52, 900	3, 110	3, 050	2, 030	104円46銭
今回修正予想(B)	49, 150	2, 360	2, 280	1, 550	79円76銭
増 減 額 (B-A)	△3, 750	△750	△770	△480	_
増 減 率 (%)	△7. 1	△24. 1	△25. 2	△23. 6	_
(参考)前期実績 (2019 年 3 月期)	52, 059	2, 932	2, 859	1, 902	98円12銭

3.2020年3月期 第2四半期個別業績予想値と実績値との差異

(2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	11, 190	500	440	22円64銭
今回発表実績値(B)	9, 916	575	538	27円77銭
増 減 額 (B-A)	△1, 274	75	98	_
増 減 率 (%)	△11. 4	15. 0	22. 3	_
(参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	12, 680	1, 348	1, 200	61円94銭

### 4.2020年3月期 通期個別業績予想の修正

(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	23, 690	1, 460	1, 230	63円29銭
今回修正予想(B)	20, 800	1, 640	1, 440	74円10銭
増 減 額 (B-A)	△2, 890	180	210	_
増減率(%)	△12. 2	12. 3	17. 1	_
(参考) 前期実績 (2019 年 3 月期)	23, 602	1, 643	1, 278	65円94銭

#### 5. 差異及び修正の理由

#### (連結業績)

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、設備投資需要の景況悪化を受けて、半導体業界向製品、産業機械業界向製品、FA空圧機器業界向製品の売上が低調に推移し、量産品である建設機械業界向製品及び自動車搭載用製品の売上も当初予想値を下回りました。米国市場においても米中貿易摩擦の影響により産業機械業界向及びプロセス業界向の売上が当初予想値を下回りました。利益面におきましては、販売価格の見直しやコスト削減を実施したものの売上高減少の影響をカバーするに至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初予想値を下回りました。

また、通期見込につきましては、より一層の収益改善を行ってまいりますが、第2四半期連結累計期間の影響を受け、前回発表予想値から上記の通り修正いたします。

#### (個別業績)

当第2四半期累計期間の業績につきましては、設備投資関連需要の景況悪化により売上高が当初予想値を下回りましたが、販売価格の見直しやコスト削減の実施により、経常利益及び四半期純利益は当初予想値を上回りました。また、通期見込につきましては、より一層の収益改善を行ってまいりますが、第2四半期累計期間の影響を受け、前回発表予想値から上記の通り修正いたします。

#### 6. 配当予想

配当予想については、変更ありません。

(注)本資料に記載しております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は 業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。